

2023年度 課題別研修「司法アクセスの改善－SDG16の実現」(JICAからの受託事業)を実施しました

2023年11月6日から17日まで、独立行政法人国際協力機構(JICA)の委託により、アジア・アフリカ各国から来日した研修員の方々に対し、「司法アクセスの改善」をテーマとして、日本での取組みの歴史と現状を知りその意義・重要性を理解し、最後に各研修員が施策案(アクションプラン)を策定・発表することを内容とする研修を実施しました。

6回目となる2023年度は、コートジボワール・ネパール・東ティモール・マダガスカル・ラオスから、裁判官・司法省職員・弁護士会幹部の5名の研修員が参加しました。

新型コロナウイルス感染症による社会の混乱が収束の兆しを見せ、4年ぶりにオンラインから来日研修に戻ったことから、講義に加え、東日本大震災被災地の宮城県仙台、司法過疎地の埼玉県秩父などにおいて司法アクセス改善を肌身で感じるプログラムも実施しました。

意見交換も活発にされ、国際交流の醍醐味を実感する研修となりました。

- 初日には小林元治会長・松田純一副会長といった日弁連執行部への表敬訪問を行い、翌7日から司法アクセス概説をはじめとした各種講義を行いました。

【日弁連執行部表敬訪問】

【亀井時子弁護士の講義風景】

【講師の山口健一弁護士と】



- 11月12日から13日、宮城県仙台市に赴きました。12日は震災遺構・仙台市立荒浜小学校など、13日は仙台弁護士会館、法テラス宮城、法テラススクールセンターを訪問しました。

【仙台弁護士会訪問】

【法テラス宮城訪問】



- 11月15日は、司法過疎地である埼玉県秩父市に赴きました。さいたま地方・家庭裁判所秩父支部・秩父簡易裁判所、法テラス秩父などを訪問し、秩父市長への表敬訪問も行いました。

【法テラス秩父・植田高史弁護士と】



【北堀篤秩父市長表敬訪問】



- 最終日には、施策案（アクションプラン）発表会、閉講式を行い、2週間の研修を終えました。